

2022年3月期 第1四半期決算説明資料

2021.7.30

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村 拓伸



Confidential

目次

1. 2022年3月期（第12期） 第1四半期決算概要
2. 2022年3月期（第12期） 通期業績予想
3. 事業セグメントの変更について
4. トピックス

Confidential

1. 2022年3月期（第12期） 第1四半期決算概要

- 3 -

Confidential

(1) 2022年3月期 損益サマリー

単位：百万円

| | 2021年 3月期 第1四半期 | 2022年 3月期 第1四半期 | 増減 | 増減率 | 前年度実績比 増収減益 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|--------|-------|---|
| 売上高 | 4,373 | 5,826 | +1,453 | 33.2% | 増収要因： ・ 経済活動が再開した海外を中心に売上増 ・ M&A企業の連結効果 |
| 営業利益 | △51 | △343 | △292 | — | |
| 経常利益 | △78 | △310 | △232 | — | 減益要因： ・ 販管費の増加 ① 将来の事業拡大に備えた積極的な人員採用 ② M&A手数料とのれんの償却 |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | △111 | △394 | △283 | — | |

- 4 -

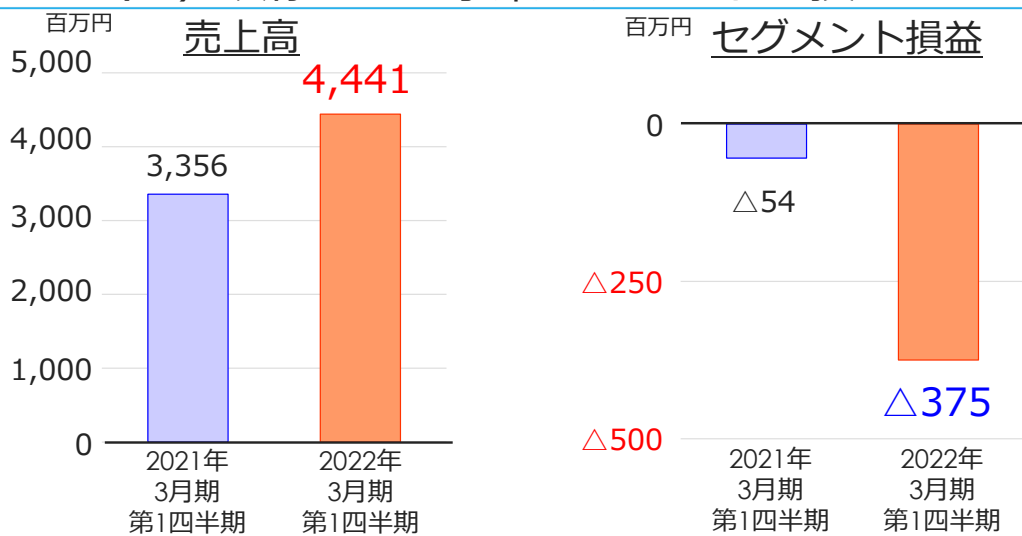
Confidential

(2) 事業セグメント別売上高サマリー

単位：百万円

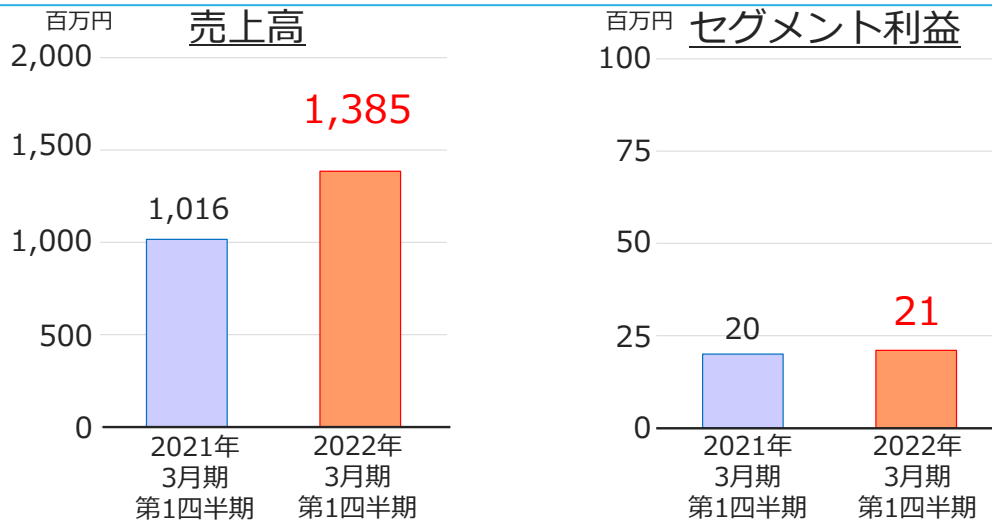
| 売上高 | 2021年 3月期 第1四半期 | 2022年 3月期 第1四半期 | 増減 | 増減率 |
|--------|-----------------------|-----------------------|--------|-------|
| 映像&IT | 3,356 | 4,441 | +1,084 | 32.3% |
| ロボティクス | 1,016 | 1,385 | +369 | 36.3% |
| 売上合計 | 4,373 | 5,826 | +1,453 | 33.2% |

(3) 映像&IT事業セグメントの損益



- ・ 教育関連で欧米を中心にリモートワーク環境の設備需要が旺盛
 - ・ ESCO (シンガポール) の連結化による増収効果
 - ・ 販管費の増加によりセグメント損失が拡大
- 将来の事業拡大を見据えた積極的な人員採用やM & A実施、手数料やのれんの償却

(4) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ 中国市場は労働力不足から来る自動化・省力化ニーズ高く堅調に推移
- ・ 国内市場は緊急事態宣言の影響による需要減で想定下回る

(5) 2022年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

| 科 目 | 2021年 3月期 | 2022年 3月期 第1四半期 | 増減 |
|----------------|---------------|-----------------------|---------------|
| 流動資産 | 21,378 | 20,818 | △560 |
| 固定資産 | 7,598 | 9,438 | +1,840 |
| 資産合計 | 28,976 | 30,256 | +1,279 |
| 流動負債 | 15,117 | 16,092 | +975 |
| 固定負債 | 4,521 | 5,357 | +836 |
| 負債合計 | 19,638 | 21,449 | +1,811 |
| 株主資本 | 8,930 | 8,203 | △726 |
| その他の包括利益累計額 | 407 | 602 | +195 |
| 純資産合計 | 9,338 | 8,806 | △531 |
| 負債純資産合計 | 28,976 | 30,256 | +1,279 |
| 自己資本比率 | 32.2% | 29.1% | △3.1pt |

【流動資産】

- ・ 現金及び預金：△1,910百万円
- ・ 受取手形及び売掛金：△1,146百万円
- ・ 在庫：+2,706百万円

【固定資産】

- ・ 有形固定資産：+159百万円
- ・ 無形固定資産：+1,216百万円
- ・ 投資その他の資産：+463百万円

【固定負債】

- ・ 長期借入金：+841百万円

【純資産合計】

- ・ 利益剰余金：△726百万円
- ・ 為替換算調整勘定：194百万円

(6) 2022年3月期 連結損益計算書①

単位：百万円

| 科 目 | 2021年 3月期 第1四半期 | 2022年 3月期 第1四半期 | 増減 |
|-------------|-----------------------|-----------------------|---------------|
| 売上高 | 4,373 | 5,826 | +1,453 |
| 映像&IT事業 | 3,356 | 4,441 | +1,084 |
| ロボティクス事業 | 1,016 | 1,385 | +369 |
| 売上原価 | 3,183 | 4,149 | +966 |
| 売上総利益 | 1,189 | 1,677 | +487 |
| 販管費 | 1,240 | 2,020 | +779 |
| 営業利益 | △51 | △343 | △292 |
| 映像&IT | △54 | △375 | △320 |
| ロボティクス | 20 | 21 | 1 |
| ※調整額 | △17 | 10 | 27 |

- 9 -

Confidential

(6) 2021年3月期 連結損益計算書②

単位：百万円

| 科 目 | 2021年 3月期 第1四半期 | 2022年 3月期 第1四半期 | 増減 |
|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 営業外収益 | 11 | 57 | +46 |
| 営業外費用 | 38 | 25 | △13 |
| 経常利益 | △78 | △310 | △232 |
| 特別利益 | 68 | 15 | △52 |
| 特別損失 | 0 | 1 | +1 |
| 税金等調整前当期純利益 | △10 | △296 | △285 |
| 法人税等 | 100 | 98 | △2 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | △111 | △394 | △283 |

- 10 -

Confidential

2. 2022年3月期（第12期）通期業績予想

- 11 -

Confidential

3. 2022年3月期 損益サマリー

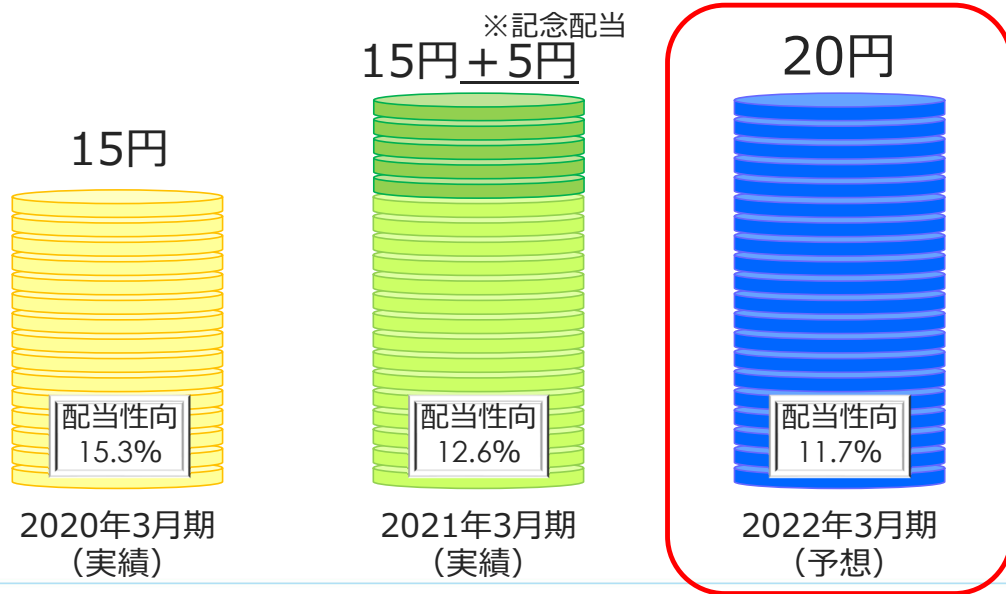
単位：百万円

| | 2021年 3月期 (実績) | 2022年 3月期 (予想) | 増減 | 増減率 |
|-------------------------|----------------------|----------------------|--------|-------|
| 売上高 | 26,481 | 33,000 | +6,519 | 24.6% |
| 営業利益 | 2,420 | 3,000 | +580 | 23.9% |
| 経常利益 | 2,533 | 2,900 | +367 | 14.5% |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 2,147 | 2,300 | +153 | 7.1% |

Confidential

(2) 2022年3月期 株主還元

年間配当予想 : 年間1株あたり20円



3. 事業セグメントの変更について

当社の技術で実現を目指す社会

豊かな社会
Sustainable Society

テクノホライゾングループが目指す「豊かな社会」とは、
全世界の子どもからお年寄りまでだれ一人として取り残されることなく、
持続可能な地球環境の中で笑顔で過ごせる社会です。

映像&IT ロボティクス

私たちは「映像 & IT」と「ロボティクス」技術で
豊かな社会の実現を目指します。

「映像 & I T」 「ロボティクス」で切り開く未来

「映像 & I T」と「ロボティクス」技術をを基盤に、
7つの事業で4つの市場に新たな世界を切り拓く。

教育 安全・生活 医療 F A

学校教育ソリューション事業
オフィス・経営ソリューション事業
マシンプラント事業
ロボットソリューション事業
セキュリティソリューション事業
医療ソリューション事業
自動車ソリューション事業

「映像&IT事業」及び「ロボティクス事業」について

当社は、「教育」「生活・安全」「医療」「FA」の4つの市場に対し、映像&IT技術、ロボティクス技術により、持続可能で豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供いたします。

「映像&IT事業」

- 映像機器（光学技術、および画像処理技術）、IT機器・サービス（各種センサーを組み込んだIoT技術、およびクラウドサービス）、さらにこれらを組み合わせた各種製品・サービス・ソリューションの提供※

※ 電子黒板、書画カメラ、セキュリティカメラ、車載用カメラ、経営管理ソフトウェア、画像処理ソフトウェア、他クラウドサービスなど

「ロボティクス事業」

- ロボット工学により自動化、省力化、省人化、最適化で、人々を補助・支援するロボット制御機器の設計・製造・販売

重点4市場と7ビジネス領域



4. トピックス

- 19 -

Confidential

国内の展示会出展計画（2021年度予定）

47の展示会等に出展予定

* コロナ対策を万全にしつつ、プライベート展示会を開催 *

テクノホライゾングループソリューションフェア2021

- 4月：in東京（写真：フェアの様子）
- 9月：in名古屋（予定）



- 20 -

Confidential

当社グループ入りした企業①



Pacific Techグループ

ASEAN諸国で

- ✓サイバーセキュリティソリューションの提供・保守
- ✓データプロテクションソリューションの提供・保守



当社グループ入りした企業②



- ◆ 主に画像処理技術を研究開発
- ◆ 尖った技術で画像処理ソリューションを提供

➤ 一般向け

得意とする画像処理分野を中心に趣味や仕事で楽しく活用できる様々なパソコン用ソフトウェアを開発、販売

➤ 教育市場向け

2000年から教育機関向けに画像処理ソフトウェアを研究・開発・販売
全国で約6,500校の小学校・中学校・高等学校で採用

➤ 企業向け

ソフトウェア開発やモジュール単位でのライブラリ提供など
デジタルカメラ業界をはじめ、DPE業界からアミューズメント業界まで幅広い分野への技術提供

ステートメント動画公開

https://www.youtube.com/watch?v=uhe_bcgrUCM



- 23 -

Confidential

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

Confidential

I R 担当窓口

- 役職： 取締役経営企画部長
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

風は向かす

TECHNO HORIZON CO., LTD.

TECHNO HORIZON

テクノホライゾン株式会社

TIETECH

ELMO

Finefit Design

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

Knowledge
Imaging
Technology **KIT**


ELMO K-GRANDE
CORPORATION

MDT

ITL

 BlueVision

 ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

fine

Pacific Tech

 市川ソフトウェアラボラトリー

Confidential